



平成30年度土木学会西部支部技術発表会 ～ 新技術・新工法・新材料などに関する発表会 ～

土木学会西部支部では、新技術・新工法に関する動向や工事報告などについて最新の情報を提供し、土木技術のさらなる発展を図るため、技術発表会を毎年開催しています。以下の通り、平成30年度の技術発表会を企画いたしました。年末のご多忙の折とは存じますが、お誘い合わせの上、ご参加ください。

1. 主催：公益社団法人 土木学会西部支部
2. 後援：一般社団法人 九州橋梁・構造工学研究会, 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会九州支部, 公益社団法人 地盤工学会九州支部, 公益社団法人 日本コンクリート工学会九州支部, 一般社団法人 日本建設業連合会九州支部
3. 日時：平成30年12月20日(木) 13:00-17:05 (開場:12:30)
4. 会場：アクロス福岡 606 会議室(〒810-0001 福岡市中央区天神 1-1-1)
5. 申込方法：ホームページよりお申し込み下さい。(当日受付もいたします。)
http://www.jsce.or.jp/branch/seibu/03_study/02.html
6. 参加費：2,000円(会員), 5,000円(非会員)を当日徴収します(講演概要集代を含む)。
7. 土木学会 CPD プログラム(3.8 単位, 認定番号 JSCE18-1404)

【プログラム】

13:00-13:10 開会挨拶

■セッション1

- | | | |
|-------------|--|---|
| 13:10-13:30 | 光触媒の新たな形、無色透明な防錆防食コーティング | (有)旭
松田 松太郎 |
| 13:30-13:50 | 超高強度合成繊維補強コンクリートを用いたグラウンドアンカー用反力体の実用化 | (株)エスイー
小林 裕貴 |
| 13:50-14:10 | Subloading surface model for metals with orthotropic anisotropy(直交異方性を考慮した金属に関する下負荷面モデル) | MSC Software Corporation
Koichi Hashiguchi (橋口 公一) |
| 14:10-14:30 | Subloading-unilateral damage model(下負荷・片方向損傷モデル) | MSC Software Corporation
Koichi Hashiguchi (橋口 公一) |
| 14:30-14:50 | 大気環境の鋼構造物に対するAl-Zn合金材と繊維シートを用いた犠牲陽極防食技術の開発とその実用化 | 九州大学大学院
山下 和也 |
| 14:50-15:00 | <休憩> | |
| ■セッション2 | | |
| 15:00-15:20 | 技術者としての本質的な考え方について | 日進コンサルタント(株)
鐘 廣喜 |
| 15:20-15:40 | 商用車プローブデータを用いた自動車起終点調査技術 | (株)富士通交通・道路データサービス
三浦 嘉子 |
| 15:40-16:00 | 気候変動による大気・河川・海域の温度変化が有明海の貧酸素水塊の消長に与える影響について | 九州大学大学院
田所 壮也 |
| 16:00-16:20 | 鋼橋床版の打音点検装置の開発について | 西日本高速道路エンジニアリング九州(株)
小原 大樹 |
| 16:20-16:40 | 衝撃弾性波法によるコンクリート構造物のうき・剥離自動検知システム BLUE DOCTOR | (株)オンガエンジニアリング
栗原 伸浩 |
| 16:40-17:00 | 試験体で得られた学習データを用いた打音診断システムの開発 | 佐藤工業(株)
黒田 千歳 |
| 17:00-17:05 | 閉会挨拶 | |

(敬称略・発表者のみ掲載)